

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	産業版出前市長室開催事業		担当部署	経済建設部 経済局 商工政策課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	産業版出前市長室開催要領		
基本政策(大項目)	4	活力とにぎわいあふれる鳴門づくり		事業期間	開始	平成 22年度
政策(中項目)	1	活力都市なると				
(小項目)		産業(①商工業・金融)				
施策	8	産業の振興と経営基盤の充実強化				
基本事業	1	地場産業の育成・振興	終期			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	産業分野ごとの事業者 各産業が抱えている問題や課題の解決策をともに考え、効果的で効率的な施策や事業に結びつけ、各事業所の収益の増加、これに伴う雇用の創出を図る。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位	開催回数	4	4	4	4	4	件
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位										
開催回数	4	4	4	4	4	件										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	市内各保育所、商工会議所青年部、阿波踊り振興協会所属連と、それぞれの分野の現況と課題、課題解決に向けての市への提案、各分野の活性化に向けて取り組んでいることなどについて話し合い、ニーズ把握に努めた。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名			22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	開催回数	4	3	4	4	4	件
	2	意見を施策に反映した件数	0	0	1~4	1~4	1~4	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	開催回数		0	3	-	-	-	件
	目標達成率(実績/目標)			75.0	-	-	-	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位
事業費	(財源内訳の合計)		79	32	65	65	65
	財源内訳	国	0	0	0	0	0
		県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	79	32	65	65	65
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		3,259	3,259	3,259	3,259	3,259	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	人
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		3,338	3,291	3,324	3,324	3,324	千円

【事務事業名：産業版出前市長室開催事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	事業所の方に集まっていただけでなく、市職員が個々の事業所への訪問によりニーズ把握を行う。直接訪問することにより、事業所の状況や製品などについても理解することができ、魅力ある企業の掘り起こしや人的ネットワークの構築も併せて行うことができる。 また、構築した人的ネットワークを生かし地域経済活性化の方法などを事業所などと連携して考えていくことのできる体制を構築する。
----------------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	廃止しても支障はないが、他の方法で事業所のニーズ把握などを積極的に実施しなくてはならない。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 産業の振興と経営基盤の充実強化 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	4	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	効果をあげられるよう、内容を見直す。
<input type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。			
<input type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
/10			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
4	<input type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	手法についても見直しを進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等	各産業が抱えている問題や課題の解決策をともに考え、効果的で効率的な施策や事業に結びつけ、各事業所の収益の増加、これに伴う雇用の創出を図るためには現状に満足することなく最善の方法を模索していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	未定 ▼			
	どのように改革するのか	平成24年度の実績をもとに、さらなるニーズの吸い上げの方法を検討し改善をすすめていく。			